

「ウシ繁殖超音波画像診断セミナー九州沖縄ブロック研修会」を開催しました

平成30年12月12日

(独)家畜改良センター

宮崎牧場・熊本牧場

12月4～5日に家畜改良センター宮崎牧場において、「ウシ繁殖超音波画像診断セミナー九州沖縄ブロック研修会」を開催しました。研修会には、開業獣医師、農済獣医師、県獣医師等10名の参加があり、九州各県のほか兵庫県からの参加もありました。講師には宮崎大学農学部獣医学科産業動物臨床繁殖学研究室 大澤健司 教授をお招きし、1日目に講義、2日目に実技講習を行いました。

1日目の講義では、超音波検査の基本手技、早期非妊娠診断及び胎子性判別について写真や動画を用いて分かりやすく説明していただきました。講義後に受講者から日常業務での課題も含めた様々な質問があり、大澤先生からアドバイスがありました。

2日目は、胎齢28日から84日までの妊娠牛20頭、空胎牛（発情牛）2頭を準備するとともに、株式会社メディカル・タスクフォース及び本田電子株式会社から提供頂いた超音波画像診断装置を用いて、実技を行いました。

研修終了後に回収した受講者アンケートからは、「座学も実習も非常にわかりやすく充実していた」「様々な胎齢の実習牛が用意されていた」「今後の診療に役立てたい」等の声があり、受講生に満足していただけたようでした。また、本研修会が情報交換の場としても有効に活用されたようでした。

今回の研修の受講者が、超音波画像診断装置による性判別技術等を活用され、生産性の向上に貢献されることを期待しています。



1日目：講義



2日目：実習



2日目：実習



2日目：実習